【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年7月1日(2022.7.1)

【国際公開番号】WO2020/218162
【出願番号】特願2021-516059(P2021-516059)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ 13/53(2006.01)
Ａ６１Ｌ 15/20(2006.01)
Ｃ０８Ｊ 3/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ 13/53 ３００
Ａ６１Ｌ 15/20 ２００
Ｃ０８Ｊ 3/12 ＺＣＥＹ

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月23日(2022.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エチレン性不飽和単量体と内部架橋剤と表面架橋剤との架橋重合体を含み、
前記エチレン性不飽和単量体が、（メタ）アクリル酸及びその塩からなる群より選ばれる少なくとも一種の化合物を含み、
前記（メタ）アクリル酸及びその塩の割合が、前記架橋重合体の構造単位を与える単量体の全量に対して７０～１００モル％であり、
下記（１）～（４）の手順により測定されるゲル反発力消失距離が３．５～６．０ｍｍである、吸水性樹脂粒子。
（１）鉛直方向の上側に開口した凹部を有する容器の前記凹部内に当該吸水性樹脂粒子の３０倍膨潤のゲルを準備する。
（２）平坦面を有する治具の前記平坦面を前記ゲルの表面に鉛直方向の上側から接触させる。
（３）鉛直方向に前記治具を前記ゲルに６．０ｍｍ押し込んだ後に前記治具を前記ゲルから６．０ｍｍ引き戻す操作を３回繰り返し、当該繰り返し操作における前記３回の引き戻す操作のそれぞれにおいて、前記治具に負荷される荷重が消失する移動距離を得る。
（４）前記工程（３）において得られた計３つの移動距離の平均値を前記ゲル反発力消失距離として得る。
【請求項２】
荷重４．１４ｋＰａ下における生理食塩水の吸水量が２２ｍＬ／ｇ以上である、請求項１に記載の吸水性樹脂粒子。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の吸水性樹脂粒子を含有する、吸収体。
【請求項４】
請求項３に記載の吸収体を備える、吸収性物品。
【請求項５】
おむつである、請求項４に記載の吸収性物品。
【請求項６】

下記（１）～（４）の手順により測定されるゲル反発力消失距離に基づき吸水性樹脂粒子を選定する工程を備える、吸水性樹脂粒子の製造方法。
（１）鉛直方向の上側に開口した凹部を有する容器の前記凹部内に当該吸水性樹脂粒子の３０倍膨潤のゲルを準備する。
（２）平坦面を有する治具の前記平坦面を前記ゲルの表面に鉛直方向の上側から接触させる。
（３）鉛直方向に前記治具を前記ゲルに６．０ｍｍ押し込んだ後に前記治具を前記ゲルから６．０ｍｍ引き戻す操作を３回繰り返し、当該繰り返し操作における前記３回の引き戻す操作のそれぞれにおいて、前記治具に負荷される荷重が消失する移動距離を得る。
（４）前記工程（３）において得られた計３つの移動距離の平均値を前記ゲル反発力消失距離として得る。